

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)制御機器センター	階数	地上2階
建設地	京都府舞鶴市宇長浜小字雁又1002	構造	S造
用途地域	工業、工専および市街化調整区域	平均居住人員	114 人
気候区分		年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年4月 予定	評価の実施日	2011年8月1日
敷地面積	63,975 m ²	作成者	小牟田秀行
建築面積	2,441 m ²	確認日	2011年8月10日
延床面積	3,246 m ²	確認者	清水正一

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 88%
③上記+②以外の 88%
④上記+ 88%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	計画建築物は、広大な敷地の一角に位置し、山および海に囲まれた静寂な環境の中にあり自然環境は十分に保たれており、現在の環境を破壊しないよう配慮している。 *	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
事務所・管理ITのみならず、作業ITも含め、外皮の断熱施工をおこなっている。 事務・管理ITは、ガラス入り断熱サッシを採用し、熱環境・音環境に配慮している。		建設場所は、広大な敷地の一角、擁壁および自然法面緑地に囲まれた環境の中にあるので、建設によりその自然環境を破壊しないよう、現況の敷地レベルを維持しかつ、自然法面を保存している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
主たる屋根全面に、太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの利用に努めている。 また、使用する照明器具、空調設備は、最新の省エネ型を設置し、使用エネルギーの削減に留意している。	事務・管理IT外壁に発泡系断熱材を使用しているが、CO ₂ 発泡剤を使用することで、GWPとLDPのみならずGWPにも配慮している。 その他の断熱材はガラスウールを使用している。 節水型便器(擬音装置付)を使用し、水栓は節水型付としている。	計画建築物は、広大な敷地内にあり、新築により周辺環境に影響を与えることはないため、特別な配慮はしていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される